

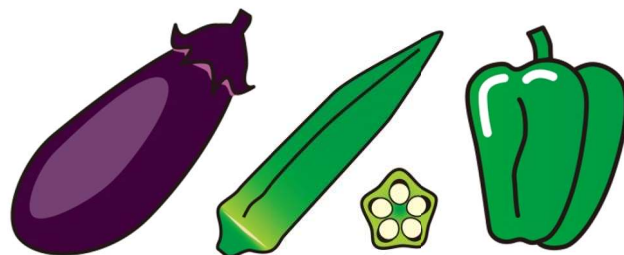
ベストマッチ® 夏秋ナス用801

18-10-11-Mg1 ニガウリ・オクラにも

化成肥料と4種類の被覆肥料を配合し、4～5月に定植する露地ナスを中心とした果菜類の生育に好適になるように設計された、果菜類用肥料です。

N	窒素（化成）	0.6 kg
	窒素（被覆）	3.0 kg
P	りん酸（化成+被覆）	2.0 kg
K	加里（化成+被覆）	2.2 kg
Mg	苦土（化成+被覆）	0.2 kg

（1袋20kgあたり）

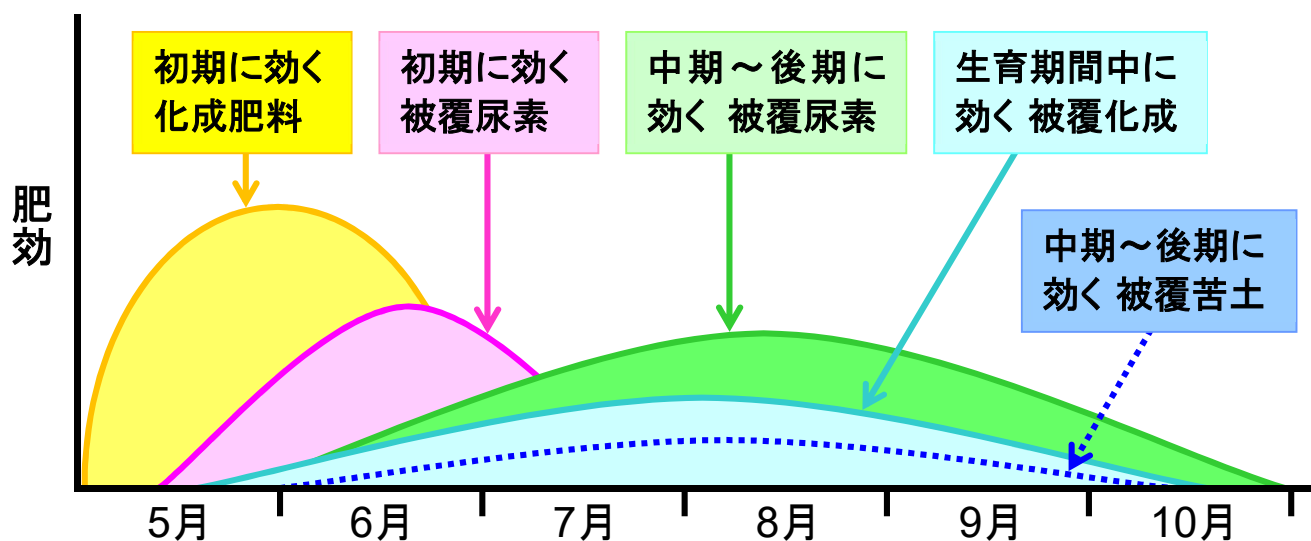


特長

夏秋どり露地栽培の果菜用に設計した肥料です

露地栽培の果菜類は、定植直後のまだ気温の低い時期から肥料を十分に効かせ、収穫終了まで肥料を切らさないことが必要です。4～5月に定植し、9～10月まで栽培する果菜用に、**初期生育に必要な化成肥料と、初期～後期に必要な4種類の被覆肥料を配合**しました。窒素、りん酸、加里以外に苦土も被覆して配合しており、生育後半まで実の肥大、葉色の維持に効果が続きます。元肥として1回施用するだけで、生育期間中、穏やかに切れ目なく肥効が持続、安定した収穫ができます。

ベストマッチ夏秋ナス用801の肥効イメージ(5月初旬施肥の場合)



施用量・施用方法

作物	施用量(10aあたり)		施用方法
	現物	窒素量	
ナス	260～320kg	46.8～57.6kg	施肥量は地域・品種によっても異なります。左記を参考に、堆肥・苦土石灰などの土壌改良材を、通常通り施用した後、全層混層施用してください。
ピーマン	180～200kg	32.4～36.0kg	
オクラ	160～180kg	28.8～32.4kg	
ニガウリ	220～240kg	39.6～43.2kg	